**基本情報**

時間割コード／Course Code　310119（OSIPP）/　220479（Law）/　020277（学部）

開講区分(開講学期)／Semester　秋～冬Fall, Winter

曜日・時間／Day and Period　水6

開講科目名／Course Name (Japanese)　リーダーシップを考える

開講科目名(英)／Course Name　　Taking Leadership Seriously: Learning from Doing

単位数／Credits　2

開講言語／Language 日本語

履修対象／Eligibility　全学部

講義室／Room　国際公共政策研究科（OSIPP）棟　２階　講義シアター

担当教員／Instructor　西嶋聡、木川田一榮

**授業の目的と概要／Course Objective**

この授業では、学生と教員が社会と協働して授業を創造し運営する活動の中で、リーダーシップを体験しながら考え、学びます。

リーダーシップは、首相や社長などの地位から生じるものではありません。また、一部の選ばれた特別な人のためのものでもありません。リーダーシップの基本は、私たち一人一人が様々な問題を責任を持って解決しようとする行動にあります。リーダーシップの目的は、困難な問題を解決するために人びとに価値観や行動の変化（学習）を促すことです。

この授業では、まずリーダーシップの**理論**を学んだ上で、自身が今後解決したい課題とは何かについて考えることで、今後どのようなリーダーシップを発揮する必要があるのかという**仮説**を持って授業に臨みます。**スキルの修得や実践**の過程でリーダーシップについて考え、最後に仮説を**検証**します。

授業の後半には受講生が企画したイベント（集中講義または行事等）を実施します。イベントの企画・立案の過程で失敗や成功を重ねることにより、リーダーシップについて体験的により深く学ぶことが期待できます。また、リーダーシップの重要要素である話し方やコミュニケーション力、プレゼンテーションスキル、そしてファシリテーションスキル等を養成することができます。

さらに、授業の過程で、「場の作り方」や「メールの書き方」など、社会生活のあらゆる場面で役立つ基本スキルを修得します。

＜過去の受講者の感想＞

* 受講前までは、リーダーシップをとる上で大切なのは情熱や気合など、気持ちの面だと思っていた。しかし、講義を通して、ファシリテーションのスキルなど、練習と経験から得られるような面が非常に大切だということがわかった。（外国語学部1年）
* 授業においての、他の受講生の言動や、講師の方々、先生方の教えにヒントがあると思い、リーダーシップを考える概念のようなものから実践的な生きたものとして認識を変えた。（経済学部1年）
* 受講前までは曖昧であった「リーダーシップ」という概念についての理解がより明確になり、その能力を伸ばすための具体的なアクションを知ることができました。（法学部4年）

昨年度の授業日程表は以下のURLより閲覧できます。

<http://www.osipp.osaka-u.ac.jp/leader/leadership.html>

**学習目標／Learning Goals**

* リーダーシップに関する代表的な理論の理解に留まらず、他の受講者や講師との対話を通じて新しい考えに触れ、また授業中にリーダーシップを発揮する機会を持つことで、授業の最終回には実践に耐えうる自分なりのリーダーシップ論を持つ。
* 自分が主体的に意思を持って動けるようになる。
* 人に動いてもらえるような伝え方や動き方ができるようになる。
* チームや会議の中で話し合い、相手の意見を引き出して自分の意見をより良く変えていくことによって、合意形成ができるようになる。

**授業形態／Type of Class**

* 授業時間は原則として水曜日の18:30～20:00です。スキル修得の練習とディスカッションを集中的に行うことにより学習効果を高めます。
* 各回の授業の最後に「振り返りシート」を作成することにより、学んだことをきちんと振り返り、内省する習慣を身につけます。
* 詳細な授業日程は、CLE、KOAN等に掲示します。

**特記事項／Special Note**

【受講理由書】

* シラバスをよく読んで、なぜこの授業を受講したいかを記載した「受講理由書」をメールで提出してください。
* 「受講理由書」は、A4用紙１枚以内（Word 11ポイント）で作成し、ファイルのヘッダーに提出日・氏名・学番・メールアドレスを記入してください。提出期限は10月末日です。
* メールの件名に「2022リーダーシップを考える（受講者名）」と記入し、[glp@osipp.osaka-u.ac.jp](mailto:glp@osipp.osaka-u.ac.jp)　宛にファイルを添付して提出してください。

**授業計画／Class Plan**

第1回：オリエンテーション

第2回：授業練習

第３回：リーダーシップとは？（1）

第4回：リーダーシップとは？（2）

第5～7回：新しいリーダーシップの在り方

第8回：リーダーシップとは？（3）

第9～12回：第13回授業の企画・運営について検討する

第13回：受講生が創る授業

第14回：第13回授業振り返り

第15回：授業全体の振り返り

**授業外における学習／Independent Study Outside of Class**

* この授業はグローバルリーダーシップ・プログラム（GLP）の一部です。リーダーシップを総合的かつ実践的に身につけるためには2学期木曜日4限の「経営者と学ぶリーダーシップ」も受講すると効果的です。「経営者と学ぶリーダーシップ」は学部向けに開講されており、内容はゲストによるプレゼンテーションと質疑応答が中心です。

聴講を希望する場合は、グローバルリーダーシップ・プログラム事務局 glp@osipp.osaka-u.ac.jpに申し込んでください。

**教科書・教材／Textbooks**

* 第１回授業で、「GLP（Global Leadership Program）共通テキスト」を配布します。

**参考文献／Reference**

実践だけでは良いリーダーシップは身につきません。次の参考文献を自分の実践と照らし合わせながら授業に取り組むとより効果的です。

1. 『リーダーシップ・チャレンジ[原書第五版]』、ジェームズ・M・クーゼズ、バリー・Z・ポズナー（著）、関美和（訳）、海と月社、2014年＜原著：James M. Kouses, Barry Z. Posner, “The Leadership Challenge”, Jossey-Bass, 2012＞
2. 『最前線のリーダーシップ』、マーティ・リンスキー、ロナルド・A・ハイフェッツ（著）／竹中平蔵（訳）、ファーストプレス、2007年＜原著：Ronald A. Heifetz, Marty Linsky, “*Leadership on the Line*”, Harvard Business Review Press, 2002.＞
3. 『リーダーシップは教えられる』、シャロン・ダロッツ・パークス（著）／中瀬英樹（訳）、武田ランダムハウスジャパン、2007年＜原著：Sharon Daloz Parks, “*Leadership Can Be Taught*”, Harvard Business Review Press, 2005.＞
4. 『リーダーシップの旅』、野田智義・金井寿宏（著）、光文社、2007年

**成績評価／Grading Policy**

* 受講理由書、平常点（行動の適切さ、チームへの貢献、相互評価）、学期末レポートなどにより総合的に評価します。

**受講生へのメッセージ／Messages to Prospective Students**

リーダーシップは、リーダーや一部の選ばれた特別な人のためのものではなく、全ての人の日常生活の身近にあるものです。リーダーシップを学び、身に着けることによって、より充実した学生生活を送るとともに、自らのキャリアデザイン（就職、進学、留学、起業等）にも活かしましょう。

**コメント**

障がい等により本講義の受講に際し特別な配慮を要する場合は、法学部教務係に事前に相談するとともに、初回授業等、早期に授業担当教員に申し出てください。